

令和4年度以降入学生の学習評価について

令和4年度入学生から新学習指導要領による学習活動が始まっております。本校では学習評価として3つの評価の観点（「知識・技能（工業科目は技術）」、「思考力・判断力・表現力等」、「主体的に学習に取り組む態度」）で成績を決定します。この評価の観点では、生徒一人一人のよい点や努力している点、成長している点、改善すべき点などを見取ることで、生徒が自らの学習活動を振り返り、目標の達成から新たな課題への挑戦など、学習を通しての成長を実感できることをねらいとしております。

◎新学習指導要領（令和4年度入学生から実施）のポイント

高等学校の学習指導要領において、新しい時代を生きる子供達に必要な力「資質・能力」を「三つの柱」として整理しました。

- (1) 実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」
- (2) 未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」
- (3) 学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」

◎観点別学習状況の評価の観点

各教科・科目等の目標及び内容が資質・能力の「三つの柱」で再編成されたことを踏まえて、各教科・科目等における観点別学習状況の評価（以下、「観点別評価」）の観点についても、「知識・技能（技術）」、「思考、判断、表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点となっています。

知識・技能（技術）

・知識及び技能（技術）の習得状況について評価します。

・他の学習や生活の場面でも活用できる程度に理解したり、技能（技術）を習得したりしているかについて評価します。

思考・判断・表現

・知識及び技能（技術）を活用して課題を解決する等、必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているかどうかを評価します。

主体的に学習に取り組む態度

・自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意志的な側面を評価します。